

令和5年度 第1回久留米市環境審議会議事録

1 日時

令和6年3月27日(水) 15時30分開会、17時00分閉会

2 会場

久留米市庁舎401会議室

3 出席者

会長	島岡 隆行	九州大学大学院 工学研究院 教授
副会長	吉永 美佐子	高齢者快適生活づくり研究会 代表
	中畠 裕之	久留米工業高等専門学校 生物応用化学科 教授
	野田 豊國	久留米商工会議所 常議員
	権藤 裕子	久留米市農業協同組合 総務企画部総務課課長代理
	高橋 和子	くるめクリーンパートナー 代表
	田中 幹雄	久留米市校区まちづくり連絡協議会 幹事
	江上 昭子	久留米市女性の会連絡協議会 会長
	永松 千枝	久留米市地区環境衛生連合会 常任理事
	楠元 晃任	福岡県北筑後保健福祉環境事務所 環境長

事務局	西村 信二	環境部部長
	池田 剛	環境部環境政策課長
	角 洋一郎	環境部環境保全課長
	村上 涼二	環境部環境保全課主幹
	松永 洋亮	環境部資源循環推進課長
	井上 和憲	環境部資源循環推進課主幹

4 欠席者

	井手 悠一郎	聖マリア学院大学 教授
	高取 千佳	九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授
	池鯉鮒 悟	久留米工業大学 建築・設備工学科 教授
	石竹 達也	久留米大学医学部 教授
	吉田 大	国土交通省 九州地方整備局 筑後川河川事務所 所長

5 次第

- (1) 開会
- (2) 委員紹介

(3) 正副会長の選出

(4) 報告

- ① 久留米市地球温暖化対策実行計画の改定について
- ② 久留米市域から排出される温室効果ガスについて(令和2年度)
- ③ 令和4年度久留米市環境調査結果について
- ④ 令和4年度久留米市のごみ量について
- ⑤ 特小型指定袋の導入について

(5) 閉会

6 提出資料等

別紙のとおり

7 会議内容

別紙のとおり

1 開会

2 委員紹介

今回は委員改選後初めての審議会であることから、事務局から委員を紹介。

3 正副会長の選出

事務局から、会長に島岡委員、副会長に吉永委員にお願いしたいと提案し、満場一致で両委員を選出。

4 報告

(1) 久留米市地球温暖化対策実行計画の改定について

(2) 久留米市域から排出される温室効果ガスについて(令和2年度)

(皆環境政策課課長補佐説明)

島岡会長：

この実行計画は、地球温暖化対策協議会でも協議され、また先ほどのお話にもありましたように、パブリックコメントで市民の方々からもご意見をいただいて、その意見を反映させたものです。さらには、久留米市の市議会で報告をされた、成案ではございますけれども、ただいまのご説明内容につきまして、ご意見・ご質問があればお受けしたいと思います。

(意見・質問等なし)

では、私の方からよろしいでしょうか。

非常に高い目標を掲げられていると思います。市民事業者の取組み、市の取組みという形で分けて説明いただきましたが、市は市でやっていただけということを信じておりますけれども、市民、事業者に対しては、なかなか強制が難しいと思います。啓発だとかいろいろなお願いや説明をされているのですが、具体的に市民、事業者が、特に市民が、具体的に行動を起こされるための対策(施策)を補足で説明いただけたらと思います。

池田課長：

市民の方々はどうやって伝えていくかが最大の重要事項になっておりますけれども、同じ市民の方でもまだまだ何も知らない方、或いはもうすでに取り組みを進めている方、そういった方々に、より丁寧に段階に応じた対策が必要と思っております、まず最初に知っていただくことが重要だと思っております。そのためには、わかりやすくということで、環境テーマ全体のイベントも含みますけれども、軽めのイベントをやって、気づきを得ていただくというのが入り口としてあります。

次に、皆様に今日お配りしている冊子ですが、年に1回、広報紙を作っております。お手元にあります「エココ」という、全戸配布しているんですが、中を開けていただくとそれぞれ脱炭素の行動を紹介しております。そこには、地球のためだけではなくて、ほかにもいいことがあることを具体的な数字を示して、イラストもたくさん使ってわかりやすくお伝えしているところがございます。そういった方々に向けて啓発を行い、興味を持っていただければ、より、ライフスタイルの転換へ導けるのではないかと考えています。先ほどの住宅の省エネ化などについては、お金もかかってきます。

そういった方々には、国も手厚い補助金を出しておりますけれども、久留米市としても、そこへの上乗せ補助を用意しております。具体的には、ZEH 住宅の補助金というのを設定しております、国の補助を受けた方々には、プラス 10 万円ほど補助金を支援しますというような制度設計もしております。

そういった段階に応じた、行動変容の促しというのを、今取り組んでいるようなところでございます。

島岡会長：

啓発、また種々の補助金も含めて、目標に向かって進めていかれるということでございます。また、この審議会で、進捗状況をご報告いただければと思います。

(3) 令和4年度久留米市環境調査結果について

(村上環境保全課主幹説明)

島岡会長：

皆様から、ご意見ご質問があればお受けしたいと思います。

(意見・質問等なし)

(4) 令和4年度久留米市のごみ量について

(松永資源循環推進課長説明)

島岡会長：

皆様からご意見、ご質問をお受けしたいと思います。いかがでしょうか。

(意見・質問等なし)

では、私から。この減少傾向はわが国の全国平均、全国的な減少傾向よりも、大きいのでしょうか。それとも、大体同程度なのかを教えてくださいたいと思います。

松永課長：

全国的に同じような傾向にございます。原因といたしましては、コロナ禍で、事業系ごみが減少いたしました。その時は、当初、家庭系ごみが増えたのですが、それ以降減少してきております。また、物価高騰で買い控えが行われているのではないかと、必要なものだけ買われるような傾向になってきているのではないかと考えられます。全国的に同じような傾向がございますので、今のところ、そのような推計をしております。

島岡会長：

リサイクル量が減ったのはごみの量が減ったからですかね。リサイクル量は増えてほしいのですが、ごみの量が減ったから、リサイクル量も減ったという理解でいいですかね。

松永課長：

実際、紙の量ですね、新聞をPCで読まれる方が増えたり、新聞をとらない方が増えてきておりまして、新聞が極端に減っております。あと雑誌類です。若い方たちは雑誌を買わないで、スマホ等で読まれる傾向が強くなってきています。この紙類の減少が一番多い。紙のごみが減っているというのが主な要因でございます。

島岡会長：

それでは久留米市のごみ量について特になければ、「指定袋の導入について」、資料 5 を用いて説明をお願いいたします。

(5) 特小型指定袋の導入について
(松永資源循環推進課長説明)

島岡会長：

何かご質問があればお願いします。

永松委員：

この指定袋ですが、無いというお店が非常に多くなってきています。だからこの指定袋を買うのを、もう少し身近なところに置いていただけないだろうかという声をよく聞きますが、業者とかコンビニと契約されていると思うのですけれども、もうちょっと身近なところに置くように、考えていただけたらとても助かります。

特に私たちが住んでいるところは「買い物難民」というところで、まちづくりのコミセンとかに置きたいなと思ったら、一応契約があるので駄目と言われたんですね、コミセンに置いていただいたら非常に助かると皆さんおっしゃるんですけども、そのように、一度考えていただくことはできませんでしょうか。

松永課長：

現在、登録制度をとっております、スーパーとかコンビニとかですね、小売店で登録をさせていただいて販売をしております。今ありました要望につきましては、検討させていただきたいと考えております。

島岡会長：

そのほか、いかがでしょうか。

それでは私の方から。この特小型は全国的にどうなのでしょう。糸島市や近隣の福岡市でも見かけませんけれども、これは全国でも進んだ事例なんですよ。

松永課長：

他市はさまざまございまして、種類が何種類もあるところもございまして。すでに 10 リットルとか、5リットルとか、市町村でさまざまなタイプがございまして。特に久留米市が他市にないことをやっているということではございません。

島岡会長：

販売方法も大体、取り組んでおられるところと同じですか。コンビニで「袋、要りませんか」と聞かれますよね。その時にこれを買うということも。

松永課長：

コンビニ等での販売につきましては、千葉市とか日野市、五島市など何市かは、先行して販売をされておるような状況があります。どこもやっているという状況ではございません。

5 閉会

本日予定しておりました議題はすべて、終了いたしました。円滑な議事進行にご協力いただきまして、滞りなく終了しますこと、お礼申し上げます。それでは久留米市環境審議会を終了いたします。どうもありがとうございました。